

第6学年 国語科学習指導案

平成20年10月10日(月) 6校時
児童数 男子8名 女子8名 計16名
指導者 馬場理恵子

1 単元名 学習したことを生かして

2 教材名 「海の命」(物語) 立松和平 作

3 単元について

(1) 児童について

児童はこれまで「読むこと」の学習として、5年教材の「千年の釘にいどむ」で、あらすじをまとめたり中心部分を詳しく読んだりする学習をしてきた。また、「本は友達」では、読書会の目的に従い効果的な読み方を工夫する学習をしてきた。「森へ」では、場面の様子を想像しながら読み進め、最後にキャッチコピーを工夫したお気に入りの本の紹介を行った。日常、「読解プリント」などで文章を読み取る児童の様子を見ると、あらすじはだいたいとらえることができている。しかし、登場人物の気持ちや筆者の考えを読み取ることが苦手な児童が多い。

書く活動については、「カレーライス」で登場人物の気持ちを考えてノートにまとめ、交流し深め合う活動を行った。また、「森へ」では、テーマを決めて自分の考えを200字程度にまとめる活動を行った。これまでの活動から、課題に合わせて自分の考えを書きまとめることはできるようになってきたが、考えた理由までくわしく書くことができる児童は少なく、個人差が見られる。

(2) 教材について

第5学年および第6学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる」である。

本単元「学習したことを生かして」では、登場人物の気持ちを読み取ることが苦手であり、自分の考えをくわしく書くことができる児童が少ないという学級の実態を踏まえ、「海の命」の作品を使って、書く活動を取り入れ、読み取る力を育てたいと考えた。そこで、「海の命とは何かを考えながら、登場人物の生き方や考え方を読み取る」を主目標にし、意見交流をしながら読み取りを深めていく。

本教材「海の命」は、6つの場面で構成され、一人の少年が父の死を乗り越え、父をしのぐ漁師を目指す成長の姿が描かれている。また、「海のめぐみ」や「千びきに一びき」に象徴される父や与吉じいさ、さらには太一の行動や考え方から人間と自然の共生についても表現されている。海の命とは海に生きる全ての命と考えることができる。

(3) 指導にあたって

本教材では、叙述や言葉を根拠に主人公太一の思いや生き方を読み取らせたい。その際、単なる感想や想像による読みではなく、叙述と文脈に基づいた確かな読み取りを心がける。また、児童に課題を考えさせることによって学習意識を持たせ、書く活動によって自分の考えを整理させる。その後、グループでの意見交流や全体での意見交流をすることによって作品の理解を深めていきたい。

「つかむ」段階では、初発の感想から学習課題と課題解決するための読みの視点を考えさせ、学習意識を持たせる。

「ふかめる」段階では、登場人物の生き方や気持ちを考え、ノートに書く活動を取り入れることによって自分の考えを整理し、どの児童も発表できるようにさせたい。第5の場面は、読み取りが特に難しいと考えられる場面であるため、児童の実態も考慮し、時間を取ってしっかり考えさせる。意見交流の場では、考えのもととなった言葉や文章を取り上げながら考えを深めさせたい。そして、最後の第6の場面で、太一の生き方と海の命についてまとめることができるようにする。

「まとめる」の段階では、他の作品も読ませ、「命」について考えさせ、200字程度の文章にまとめさせたい。この活動は、「命」について考える機会になり、文章を書く力を伸ばすことにもつなげることができると思う。

本時では、父を破ったクエを殺すことが一人前の漁師になることだと考えていた太一が、なぜクエを殺さなかったのかを叙述や言葉を根拠に読み取らせながら、深く考えさせていきたい。

4 単元の目標と評価規準

主目標	◎叙述や言葉を根拠にして、登場人物の生き方や考え方を読み取ろう。 ○意見交流をして自分の考えを広げたり深めたりし、また、他の作品と比べて読み、命について考えよう。	
	目 標	評 価 規 準
関心 意欲 態度	・物語を楽しみながら読み、他の作品も読もうとする。	○意見交流をして自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○命をテーマにした他の作品と読み比べ、命について考えようとしている。
読 む こ と	・叙述や言葉を根拠にして、登場人物の生き方や考え方を読み取ることができる。	◎叙述や言葉を根拠にして、登場人物の生き方や考え方をとらえ、発表したり文章に表現したりしている。(読ウ)
書 く こ と	・自分の考えをまとめることができる。 ・他の作品も読み、「命」をテーマにした作文を書くことができる。	◎自分の考えに理由を加えて文章にまとめている。(書ア) ○他の作品も読み、「命」をテーマにして自分の作文にまとめている。(書ア)

言語事項	・語感、言葉の使い方に対する感覚に関心をもつことができる。	○語感、言葉の使い方に対する感覚に関心をもっている。(言う)
------	-------------------------------	--------------------------------

5 指導計画 (全11時間)

段落	時間	学 習 活 動	評 価 規 準	書 く 活 動
第一次 つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「海の命」という題名からイメージすることを話し合う。 ・全文を通読し、初発の感想を書く。 ・学習課題を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・叙述にもとづいた感想と学習課題を書いている。 <p style="text-align: center;"><短冊></p>	<ul style="list-style-type: none"> ●初発の感想と課題を短冊に書く。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決するための読みの視点を考え、学習の見通しをもつ。 ・新出漢字・難語句の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決するための読みの視点を考えている。 <p style="text-align: center;"><ノート・発言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の読み書きと語句の意味を調べている。 <p style="text-align: center;"><ノート></p>	<ul style="list-style-type: none"> ●課題解決するための読みの視点をノートに書く。 ●語句の意味を調べ、ノートに書く。
第二次 ふかめる	3	<ul style="list-style-type: none"> ・太一の年齢と生き方が分かる文を見つけてまとめ、あらすじをとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太一の年齢と生き方が分かる文を見つけてまとめあらすじをとらえている。 <p style="text-align: center;"><ノート></p>	<ul style="list-style-type: none"> ●太一の年齢と生き方が分かる文を見つけノートにまとめる。
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・1の場面で、太一の思いと父の生き方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太一の思いや父の生き方が分かる言葉を見つけ、考えをまとめている。 <p style="text-align: center;"><ワークシート></p>	<ul style="list-style-type: none"> ●太一の思いや父の生き方が分かる言葉を見つけ、考えたことをワークシートに書く。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・2の場面で、太一の思いと与吉じいさの生き方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太一の思いや与吉じいさの生き方が分かる言葉や文を見つけ、考えをまとめている。 <p style="text-align: center;"><ワークシート></p>	<ul style="list-style-type: none"> ●太一の思いや与吉じいさの生き方が分かる言葉や文を見つけ、考えたことを書く。 <p style="text-align: center;"><ワークシート></p>
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・3の場面で、「村一番の漁師」と「海に帰る」という言葉の意味について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・与吉じいさの生き方と太一の生命観を読み取り考えをまとめている。 <p style="text-align: center;"><ワークシート></p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「村一番の漁師」と「海に帰る」という言葉の意味をまとめる。 <p style="text-align: center;"><ワークシート></p>

	7	<ul style="list-style-type: none"> ・4の場面で、母の思いと太一の夢について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母の思いが分かる言葉や太一の夢が分かる行動を見つけ、考えをまとめている。 <p style="text-align: center;">＜ワークシート＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●母の思いと太一の夢について考えたことを書く。 <p style="text-align: center;">＜ワークシート＞</p>
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・5の場面で「一人前の漁師」について考える。 ・5の場面の様子を想像し、分かったこと・分からないことをワークシートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人前の漁師について考え、ワークシートにまとめている。 ・5の場面で分かったこと・分からないことをワークシートにまとめている。 <p style="text-align: center;">＜ワークシート＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●一人前の漁師について考え、まとめる。 ●5の場面で分かったこと・分からないことを書く。 <p style="text-align: center;">＜ワークシート＞</p>
	9 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・5の場面で、太一がなぜ泣きそうになったかその理由を考え、太一の気持ちの変化を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太一の気持ちの変化を読み取り、泣きそうになっている理由をワークシートにまとめている。 <p style="text-align: center;">＜ワークシート＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●太一が泣きそうになっている理由をワークシートにまとめる。 <p style="text-align: center;">＜ワークシート＞</p>
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・5の場面後半から6の場面で、太一の生き方と海の命について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太一の生き方と海の命を関連させながら、考えをまとめている。 <p style="text-align: center;">＜ノート＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●太一の生き方と「海の命」について、考えたことをノートにまとめる。 <p style="text-align: center;">＜ノート＞</p>
	第三 次 ま と め る	11	<ul style="list-style-type: none"> ・他の作品も読み、「命」をテーマに200字程度の文章でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを生かし、命についての自分の考えを文章にまとめている。 <p style="text-align: center;">＜原稿用紙＞</p>

6 本時の指導計画（9/11）

(1) 目標

読みの視点に基づいて太一の気持ちの変化を読み取り、太一が泣きそうになった理由を考えることができる。

(2) 授業仮説

学習課題の解決に向け、書く視点に基づいて自分の考えをまとめ、交流し合うことで太一の気持ちの変化を読み取り、太一が泣きそうになった理由をとらえることができるであろう。

(3) 展開

段階	学 習 活 動	支 援 と 評 価
つ か む 5 分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> なぜ太一は泣きそうになっているのか。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・太一の夢、一人前の漁師について確認する。 ・前時に書かせた場面感想を発表させ、本時の学習の見通しがもてるようにする。
ふ か め る 30 分	3 学習範囲を音読する。 ・段落読み 4 学習課題を解決する。 (1)クエを殺すか、殺さないか苦しんでいる太一の気持ちを考える。 ○太一の気持ちは、クエを殺したいという思いが強いのか、殺したくないという思いが強いのか、どちらの思いが強いと思いますか。 ○殺したい方が強いと思った人は、その気持ちが分かる文にサイドラインを引きましょう。殺したくない方が強いと思った人は、その気持ちが分かる文にサイドラインを引きましょう。 ○こんな感情とは、どんな感情ですか。 ○なぜ、太一は泣きそうになっているのですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題からはずれないように教科書P79の5行目～P80の8行目まで読ませる。 ・クエの様子を見て太一が思ったことを読みの視点とする。 ・全体に聞き、誰がどちらの考えか分かるように、黒板にマグネットを貼る。 ・一人一人に考えさせるために、必ず選択させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>●選択した内容の気持ちが分かる文にサイドラインを引かせる。</p> </div> <p>(読) 選択した内容の気持ちが分かる文を見つけ、サイドラインを引くことができたか。(教科書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で交流し、太一の気持ちの変化を読み取らせる。 ・クエの様子を見て、太一の気持ちが変わっていることを読み取らせる。 ・教師の音読で、太一の気持ちの変化を確かめていく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>●なぜ、太一は泣きそうになっているのかその理由をワークシートにまとめさせる。</p> </div> <p>(読) 太一の気持ちの変化にふれて、泣きそうになっている理由を書くことができたか。(ワークシート)</p>

ま と め る 10 分	5 学習のまとめをする	<ul style="list-style-type: none"> ・全員に発表してもらう。
	(1)まとめたことを交流し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめたことを交流し合うことによって、確かな読み取りにつなげる。
	(2)まとめの音読をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書P81の2行目まで読み、次時につなげられるようにする。
	(3)今日の学習のふりかえりをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちをこめた一斉音読にさせたい。
	(4)次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習をふりかえらせ、次時の学習につなげさせる。

(4) 具体の評価規準と指導の手立て

観点	A	B
読 み の 能 力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太一の気持ちの変化を読み取り、泣きそうになっている理由を太一の心の葛藤をとらえてくわしくワークシートにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太一の気持ちの変化を読み取り、泣きそうになっている理由をワークシートにまとめている。

Bに至らせるための手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見を通して、太一の気持ちの変化を受け止めさせる。 ・ 書く活動では、言葉入りヒントカードを与え、自分でワークシートにまとめることができるように支援する。